解　説

第 ７ 章　　　建設・住宅

住宅の状況

総住宅数は468万戸、空き家率は15.2%

平成30年住宅・土地統計調査によると、総住宅数は468万200戸で、前回調査(平成25年)に比べ9万4,200戸(2.1%)増加しました。このうち、居住世帯のある住宅(普段人が居住している住宅)は394万9,600戸(構成比84.4%)、居住世帯のない住宅(普段人が居住していない住宅)は73万700戸(同15.6%)です。

空き家数は70万9,400戸で、前回調査に比べ3万600戸(4.5%)増加し、総住宅数の15.2%を占めています。

 総住宅数、空き家数・空き家率



[第7章16表より]

住宅の建て方

　5割強が共同住宅

平成30年住宅・土地統計調査によると、一戸建は160万7,400戸で住宅全体の40.7%、共同住宅は218万6,300戸で同55.4%です。

前回調査(平成25年)に比べ、一戸建は2万5,800戸(1.6%)、共同住宅は4万2,300戸(2.0%)、それぞれ増加し、長屋建は1,800戸(1.2%)減少しました。

 住宅の建て方別割合



[第7章12表より]

新設住宅着工

6万9千戸で『持ち家系』が5割強

住宅着工統計によると、令和3年に着工した新設住宅戸数は6万9,000戸で、前年に比べ4,012戸(6.2%)増加しました。このうち、持ち家(自己の居住用に建築)と分譲住宅(事業者が販売目的に建築)を合わせた戸数は3万6,450戸(構成比52.8%)で前年に比べ117戸(0.3%)、貸家･給与住宅は3万2,550戸(構成比47.2%)で前年に比べ3,895戸(13.6%)、それぞれ増加しました。

新設住宅の総床面積は479万5,704㎡で、前年に比べ14万5,389㎡(3.1%)増加しました。

 新設住宅着工戸数、総床面積

[第7章7表より]

産業用建築物着工

3千棟で卸売業，小売業用が35%増加

建築着工統計調査によると、令和3年に着工した産業用建築物棟数は3,059棟で、前年に比べ155棟(5.3%)増加しました。産業別では、製造業用が506棟(構成比16.5%)と最も多く、次いで卸売業，小売業用が423棟(同13.8%)、医療，福祉用が379棟(同12.4%)です。

 産業用建築物(着工)の棟数及び床面積

[第7章5表より]